

ジンリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2022.1.28

No.13



向かって左側の山がペンケトコム、右側がパンケトコム(南西側：平取大橋の上から撮影)

重要文化的景観 —重要な構成要素の紹介 13—

ペンケトコム、パンケトコム(三井沙流山林南区域に所在)

平取町字小平の後背地に、きれいに並んだふたこぶの山があります。ペンケトコム(上流側・くるぶし)、パンケトコム(下流側・くるぶし)と呼ばれるアイヌ伝承地で、かつてはパウチコロペ(淫らな者)がいるので近づいてはいけないと語られてきました。現在、国道237号線を車で走ると、美しい対のこぶ山として眺めることができます。その一方で昔は美しいというよりも親しみのない伝承が語られ、時代とともに移り変わる価値観を垣間見ることができます。

このような山や岩の造形に込められたアイヌの物語は北海道の各地にあります。沙流川流域は都市部のような市街地開発が少なく、アイヌ伝承地が比較的良い状態で残されています。ウカエロシキ(通称クマの姿岩：二風谷)、オプシヌプリ(穴あき山：二風谷)、ムイノカ(箕の形象：荷負)、シュプンタプコブ(ウグイ[のいる沢がある]・丸い山：貫気別)、ロクンテウエトウ(弁財船のへ先：幌毛志)、フンペセトウル(クジラの背中：岩知志)といった伝統的な世界観を学ぶための場所が平取町内に点在しています。

北海道で伝えられてきた宗教や文芸、自然との関わりを知ることができる語りの舞台は歴史特性としても評価されており、今後大事にしていくべき地域遺産といえます。(長田佳宏)



トコムは平取町小平地区の三井物産社有林内に所在するハヨピラ ☎ 442 647 130 (トコムの視点場近傍)